



「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉どおり、秋のお彼岸を過ぎて朝晩には肌寒さを感じる程になりました。長引く猛暑や竜巻、記録的な大雨や地震などにより各地で災害が発生しています。気候変動対策、防災対策がますます重要になる中、10月5日に開催する三島市総合防災訓練では『身に迫る災害に備える』よう様々な訓練を行い、防災関係機関と地域の自主防災会との連携を一層強化します。市民の皆様の防災へ意識・技能を高める様々なイベントも実施しますので、是非ご家族でご参加ください。

今年度から静岡県市長会の会長を務めています。県市長会は県内23市の市長により構成される団体で、各市間の連絡協調を図りながら市行政の円滑な運営と進展につなげるとともに、県や国へも積極的に要望・陳情等を行って地域の課題解決にあたります。三島市は令和7年の静岡県地価調査で、住宅地価の変動率が県市町で1位(昨年2位)となり、最高価格地点でも住宅地(大宮町)は2位、商業地(一番町)が3位で、昨年に続き住環境や利便性の良さ、観光や街のにぎわいが評価されたものと思います。日経BP総研の『シティブランド・ランキング』では、東京都の区が上位を占める中、静岡県で唯一、三島市が28位にランクインしました。住みよい街として広く知られるようになってきたことを嬉しく思います。三島市が益々元気になって、地域を牽引する力となるよう頑張っ

豊岡 武士

リチウムイオン電池等小型充電式電池の拠点回収 ～リチウムイオン電池による火災(発火事故)ゼロを目指して～

今年7月、山手線の車内で乗客の荷物にあったモバイルバッテリーが発火した事故は記憶に新しいところですが、近年、リチウムイオン電池等の小型充電式電池の発火による火災が全国で多数発生しています。生活の中でのケガや火災につながる危険もありますが、市の清掃センターでも年間数回の発火事例が報告されています。

そこで、市民の排出ルールを明確にし、安全かつ円滑な回収体制を整えて、これら小型充電式電池を安心して排出できる仕組みとして新たに市内4か所に回収拠点を設置し、10月1日より回収を開始いたします。回収の対象となるのは、単体の小型充電式電池と、膨張した電池、また膨張した電池を内蔵するスマートホンなどの小型家電です。また、民間の回収協力店では対象外となる、リサイクルマークのない小型充電式電池(海外製品など)も回収します。

電池に起因する火災ゼロを目指すとともに、安全で持続可能な資源環境の実現に努めてまいります。

【回収対象】

- ・リチウムイオン電池等の小型充電式電池(単体)
- ・膨張した小型充電式電池
- ・膨張した小型充電式電池を内蔵する小型家電(スマホ 等)

※内蔵の電池に膨張がみられないものは、小型家電回収ボックスへ

【回収場所】

市役所本館、中郷文化プラザ、北上文化プラザ、錦田公民館

※引続き、民間の回収協力店でも回収しています

【排出のルール】

- ・小型家電から充電式電池を外す(外せないものはそのまま)
- ・小型充電式電池の金属端子をビニールテープ等で絶縁する
- ・拠点回収場所に設置した専用容器に投入する
- ・膨張した電池や膨張した電池を内蔵する小型家電は容器内の金属容器に投入する

トピックス みしま

◇ フードシェアリングサービス「タベスケ」の本格導入

昨年10月から1年間にわたり実験的な運用を続けてきた、フードシェアリングサービス「タベスケ」を、10月1日から県内で初めて本格導入することになりました。「タベスケ」は消費期限の近い食品等を販売したいお店とお得な商品を購入したい消費者をつなげるマッチングサービスで、食品ロス削減の効果に加えて、協力店には新たな販路拡大やPRの機会ともなり、もちろんお客様にはお買い得！の美味しいサービスです。1年間の実証実験の成果を見ても、食品ロス削減量約3トン、協力店舗39店の販売額は400万円に達し、食品ロス削減と地域経済の活性化に効果が確認されました。利用した皆様からも、「タベスケでの商品予約・購入」に「満足」の声が多く聞かれました。今後は、サービスの利用料を市が負担し（協力店の費用負担は無し）さらなる事業の推進を図り、清掃センターへのごみ搬入量の削減と、市民の皆様の食品ロス削減への意識を高めて『食品ロスが出ないまち』を目指してまいります。



①アプリやサイトから簡単登録・ログイン

②気になる食品やお店を検索して、購入予約

③お店で直接支払い、商品を受け取る



◇ 三島市民芸術祭 10月4日(土)～26日(日)

「燃ゆる情熱 ひろがれ感動の波」

第63回となる三島市芸術祭。今年も三島市文化芸術協会加盟の37団体が舞台公演や作品展示を通して日頃の活動成果を発表します。約1か月にわたって開催され、古典から現代まで様々な文化・芸術を楽しむことが出来ます。(入場無料)

○作品展（市民生涯学習センター3階）

・写真展・いけばな展:9日(木)～12日(日)

・美術展:16日(木)～19日(日)・書道展:23日(木)～26日(日)

○舞台公演(市民文化会館 大・小ホール)

・邦楽・詩吟詩舞:4日(土)午後1時

・日本舞踊:5日(日)午後1時30分・洋楽:12日(日)午後1時

・芸能:20日(日)午前11時30分(大ホール)

◇ 第17回三島バル 10月5日(日)～11日(土)

チケット片手に三島の街で飲み歩き♪食べ歩き♪まち歩き♪
お店自慢の一皿を1ドリンクと共に楽しめます。三島の魅力を再発見する7日間。様々なイベントも開催されます。

【前売チケット】1冊5枚綴り4,500円 販売10月5日まで

【当日チケット】1冊5枚綴り5,000円 バラ1枚1,000円

※販売場所:加盟店舗、みしまプラザホテル、ABCチケット

※「後バル」14日まで残チケット1枚700円で利用できます

◇ 日本一のこどもハロウィン・パレード in みしま

10月26日(日)午前11時～ 三島大通り商店街

子どもの参加人数 日本一に認定され、全国でも有数の規模を誇るイベントになりました。今年は過去最多3,025名が参加!!

「トリック・オア・トリート♪」の合言葉と思い思いの仮装を楽しむ子ども達の笑顔が秋の三島大通りいっぱい溢れます。参加しても見物してもワクワクのスペシャルなイベントです。

【パレード参加】小学生以下（保護者同伴）・参加費無料

※要・事前申込み 詳しくは三島大通り商店街ホームページで

◇ 第29回三島市民講座(三島市・三島市医師会主催)

「腎臓を守る！あなたの未来を変える健康講座」

今年のテーマは『腎臓』です。医師、管理栄養士、理学療法士の皆様の講演から、腎臓の健康を維持するための、バランスの取れた食事や水分摂取、定期的な運動等について考えます。講演の前には、救急救命士による応急手当体験コーナーや医師や薬剤師などによる相談会も。お気軽にお出かけください。(入場無料、申込み不要)

日 時:10月25日(土) 午後2時～5時

場 所:三島市民文化会館 小ホール

内 容:午後2時～3時 会場内ブースでの相談コーナー 他

午後3時～5時 講演会「腎臓ってどんな臓器？」他

三島市長

〒411-0035 三島市大宮町2-14-20

豊岡たけし後援会事務所 TEL 055-976-2160 FAX 055-976-2159

E-mail: toyotake@mail.wbs.ne.jp

ホームページ <http://www.toyooka-takeshi.jp/>